

5G通信

Vol.64



いま話題の次世代通信「5G」に関する
とっておきの情報をご紹介します

インドが5G成長のけん引役に

経済大国の道を進むインド。「デジタル・インド」構想による政府の後押しで、5Gは急成長へ

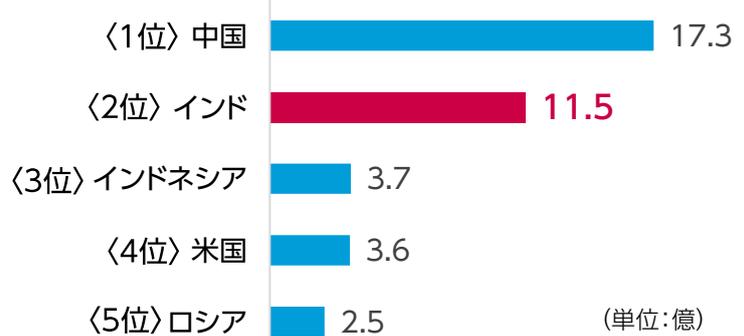
デジタル先進国であるインド

- インドは、世界最多14億人超の若く豊富な人口が原動力となり、消費拡大などを背景に高水準の経済成長を続けています。近年は、モディ政権が推し進めるさまざまな経済改革の本格化で、さらなる成長加速が見込まれており、2027年には日本を抜いて世界第3位の経済大国になると予想されています。
- また、ハイレベルな理科系教育体制等から数多くのIT人材や世界的なIT関連企業を輩出している他、近年では、キャッシュレス決済や生体認証IDシステム「アドハー」の普及が急速に進んでおり、デジタル先進国としての側面もあります。
- モディ政権は、2015年に「全国民へのデジタル・インフラの提供」・「オンデマンドでの行政サービスの提供」・「デジタル化による国民の潜在能力の発揮」等を柱とした国家戦略「デジタル・インド」構想を掲げました。以降、デジタル・インフラを公共財と位置付け、社会全体のデジタル化を目指し整備・普及に取り組んでいます。

5G関連サービス拡大の加速に期待

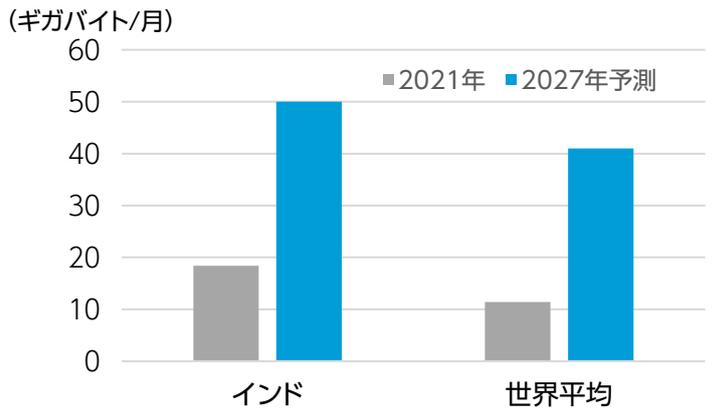
- 5G(第5世代移動通信システム)は、こうした取り組みには不可欠な技術であり、教育や医療の革新にも寄与するものとして、5Gサービス導入に対するインド政府の期待は大きいものとなっています。
- 5Gインフラ面では、2022年10月に5Gの商用サービスが開始されて以降、急ピッチで整備が進んでいます。5G契約件数は2022年末に約1,000万件に到達し、2028年末には同国のモバイル契約件数の約57%を占めると予測されており、世界で最も急速に成長が進む5G市場になるとみられています。
- デジタルインフラ面での地域格差がみられるデジタル化の余地が大きいインドですが、今後デジタル化が進むにつれてデータ通信量も飛躍的に増加すると予想されています。そのため、5G通信の普及拡大、それに伴う関連サービスの進展は、インド国内の企業だけでなく世界各国の5G関連企業にも大きな成長機会をもたらすと期待されます。

2021年 携帯電話の契約件数国別ランキング



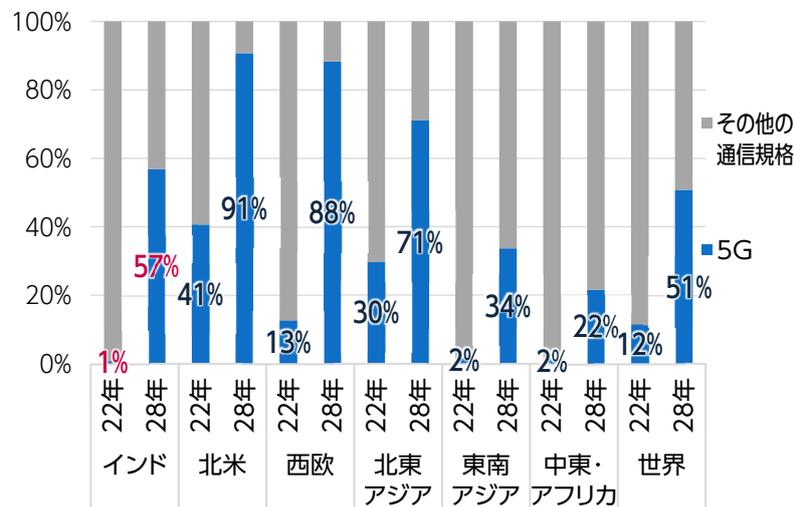
(出所) 世界銀行のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

インドのモバイルデータ通信量の予測



(出所) GSMA Intelligence「The Mobile Economy 2022」のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

国・地域別モバイル契約件数に占める5Gの割合



※エリクソンの地域分類に基づく。東南アジアはオセアニア地域を含む
(出所) エリクソン「Ericsson Mobility Report (June 2023)」のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成



【 ご留意事項 】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。